令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書／事後評価書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	一般社団法人坊っちゃん劇場
施設名	Great Sign坊っちゃん劇場
内定額	5,853　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
普-01	小中高演劇鑑賞事業	2025年7月2日～ 2026年3月13日	坊っちゃん劇場
普-02	特別支援学校　芸術鑑賞支援事業	2025年10月24日～ 2026年2月2日	坊っちゃん劇場
普-03	愛媛県シニア演劇ワークショップ	2025年4月17日～ 2026年3月26日	東温市中央公民館
普-04	新入社員を対象としたコミュニケーション・表現力向上ワークショップ	2025年7月7日～ 2026年2月10日	東温アートヴィレッジセンター
普-05	愛媛県小中学校出張公演事業	2025年5月21日～ 2026年3月11日	愛媛県内小中学校
普-06	地域の歴史文化を活用した演劇制作・上演事業（愛媛県松野町）	2025年6月1日～ 2025年11月4日	愛媛県松野町役場
普-07	愛媛県舞台芸術活性化プラットフォーム事業	2025年8月30日～ 2026年2月8日	愛媛県立南予文化会館ほか
普-08	市民（子ども）ミュージカル制作・上演事業	2025年10月19日～ 2026年3月1日	西条市総合文化会館
普-09	愛媛県特別支援学校　演劇を活用した就業支援事業	2025年11月14日～ 2026年2月3日	愛媛県内特別支援学校
普-10	愛媛県東温市　小中学校演劇体験ワークショップ	2025年5月14日～ 2026年3月26日	東温市内小中学校
普-11	四国サマーフリンジ	2025年7月5日～6日	東温アートヴィレッジセンター

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	15	23	24
	公演事業	3	3	3
	（内、本助成対象事業本数）			
	人材養成事業	6	10	10
	（内、本助成対象事業本数）			
	普及啓発事業	6	10	11
	（内、本助成対象事業本数）		10	11
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	6	10	8
	ホール名：坊っちゃん劇場　座席数：450	6	10	8
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	50,163	41,700	42,073
	公演事業	34,452	20,788	23,741
	人材養成事業	2,811	3,580	1,232
	普及啓発事業	12,900	17,332	17,100
	共生社会事業			
	その他　内容：			
	貸館事業入場者・参加者数	2,160	2,450	3,150
	その他　内容：記入してください			
	計	52,323	44,150	45,223
開館日数		239	211	242
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		239	211	242
施設の利用日数		239	211	242
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		100.0%	100.0%	100.0%

備考	

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	3	164	34,452	2	1	0	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸館公演	6	6	2,160	5	1	0	0	0	0	0
	計	9	170	36,612							
令和6年度	主催公演（※1）	3	137	20,788	2	1	0	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸館公演	10	10	2,450	9	1	0	0	0	0	0
	計	13	147	23,238							
令和7年度	主催公演（※1）	2	219	23,741	1	1	0	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸館公演	8	8	3,150	8	0	0	0	0	0	0
	計	10	227	26,891							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書／事後評価書

②（評価・所見）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	一般社団法人坊っちゃん劇場
施設名	Great Sign 坊っちゃん劇場
内定額	5,853　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書／事後評価書①（基礎データ・公演事業の実績値等)」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価	所見

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業			
人材養成事業			
普及啓発事業	・新規参加者数(アンケート調査)	アンケート回答者の 80%以上が「初めて参加」と回答。	(普 01)参加者 11,680 人中、8,270 人がミュージカルを初めて観たと回答 (普 02)参加者 98 人全員が初参加 (普 03)出演者 12 人中、5 人が初参加 (普 04)参加者 140 人全員が初参加 (普 05)参加者 798 人全員が初参加 (普 06)参加者 602 人全員が初参加 (普 07)出演者・スタッフ 95 人中、66 人が初参加 (普 08)出演者 16 人中、14 人が初参加 (普 09)参加者 66 人全員が初参加 (普 10)参加者のべ 1,656 人全員が初参加 (普 11)参加者 175 人全員が初参加
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

人材養成事業	
自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

普及啓発事業	
自己評価	全体の初参加率は約 88%（13,538 人中 11,890 人）となり、目標値の 80%を達成した。
所見	要望書の普及-01 に「学校現場や保護者からの評価、期待が高く着実な浸透を感じている」とある。学校時代の鑑賞体験は成人しても記憶に残るものである。普及啓発に 11 もの事業を行い、初参加率が 88%というのは丹念に準備し緻密な対応の成果といえる。 ただし普及-03 の熟年劇団完熟「一期座」は 2007 年設立後約 20 年、高齢化進行の中においては厳しい運営に迫られている。しかし坊っちゃん劇場のこれらの地道な活動は舞台芸術の裾野拡大として今後の期待も大きい。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	今後は、低充足事業における広報媒体の多角化や未接触層への直接的なアプローチを強化する。また、継続参加者が新規層を誘引する仕組みを検討し、層の拡大と定着の両立を図る。

共生社会事業	
自己評価	
所見	
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・（文化拠点）地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・（地域連携）地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・（児童生徒への機会提供）次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
子どもを対象とした鑑賞・体験事業の参加人数および実施校数	延べ 14,000 人以上の児童生徒に対し、プロの表現に触れる鑑賞機会および直接指導を受ける体験機会を提供する。	(普-01)小中高演劇鑑賞事業：県内全域の児童生徒 11,680 名に対し、高品質なミュージカル鑑賞の機会を提供。 (普-05,10)出張公演・ワークショップ事業：愛媛県内の小中学校へアウトリーチを行い、計 2,454 名の児童生徒に演劇体験を提供。 (普-02)特別支援学校 芸術鑑賞支援事業：障がいのある子どもたちの特性に配慮した鑑賞環境を整え、98 名に芸術体験を提供。

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	目標値 14,000 人に対し、実績値は延べ 14,232 人（達成率 101.6%）となり、定量的な目標を完遂した。内容面においても、県内全域を網羅する大規模な鑑賞事業（普-01）を軸としつつ、離島や中山間地域へのアウトリーチ（普-05,10）、障がいの特性に配慮した特別支援学校への支援（普-02）を組み合わせることで、多様な学習環境にある児童生徒に対し、居住地域や環境に左右されない平等な文化享受の機会を創出した。
所見	児童・生徒への鑑賞事業等が 14,232 人となり 101.6%と目標をクリアーしているのは評価したい。 今後の地域文化資源掘り起こしの視点として、小中高演劇鑑賞事業をはじめ、地域生徒の参加型事業、出張公演、障がい者支援策としての鑑賞提供などの蓄積は間違いなく将来の地域芸術水準向上につながるだろう。時間はかかるが地域拠点としての重要な事業として注目している。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	今後は、鑑賞と体験を一過性のイベントに終わらせないよう、事前事後学習の充実や教員との連携をさらに強化する。具体的には、ワークショップのノウハウを学校教育へ還元するプログラムの開発や、継続的な関係性を構築するためのリピート訪問の仕組みを検討したい。また、各事業で得られたアンケート結果を精査し、地域や学校ごとのニーズに応じた「オーダーメイド型」のアウトリーチ体制の整備を推進していく。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
鑑賞・体験の障壁を低減させるための配慮・アウトリーチの実施数	劇場への来場が困難な層に対し、アクセシビリティに配慮したサポートやアウトリーチを 5 事業以上実施する。	障がい者支援： 「特別支援学校 芸術鑑賞支援（普-02)」等において、感覚過敏に配慮した環境設定や、個別のコミュニケーション支援を伴うワークショップを実施。 地理的障壁の解消： 愛媛県内全域への出張公演・ワークショップを計 3 事業実施し、居住地に左右されない機会を提供。 経済的配慮： 学校鑑賞事業等を通じて、経済的状況に関わらず全ての児童生徒が等しく高品質な芸術に触れられる機会を保障した。

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	目標の 5 事業に対し、特別支援学校（普-02, 09）、出張公演（普-05, 10）、地域上演（普-06, 11）など、計 7 事業でアクセシビリティに配慮した取り組みを行い、目標を達成した。劇場来場が困難な層へ向けた積極的なアウトリーチや、感覚過敏への配慮、経済的・地理的な格差を埋める機会提供を多角的に展開し、実演芸術をあらゆる人々に開くための社会的拠点としての役割を遂行した。
所見	普及啓発全事業そのものが障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐものとして機能するものである。地方都市としてのたゆまぬ努力に敬意を表したい。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	今後は、今年度の知見を活かし、ユニバーサルデザインに基づいた鑑賞環境の標準化を目指す。具体的には、リラックスパフォーマンス公演の定期開催や、ICT を活用したアクセシビリティ支援（字幕配信等）の導入を検討したい。また、自治体や福祉・教育機関との連携を深化させ、経済的な困窮世帯へのアプローチを含めた「誰一人取り残さない」文化芸術体験の仕組みづくりを推進し、地域全体の文化底上げを図る。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
本年度の活動において特筆すべき成果を上げたのは、「演劇を活用した就業支援事業（普-09)」である。本事業は、県内に就労特化型の高等特別支援学校が存在しないという地域課題に鑑み、障がいを持つ生徒の「コミュニケーション手段の習得」や「アイデンティティ形成」を支援することを目的に実施した。 ワークショップでは、プロの俳優が講師となり、単なる演技指導ではなく、発声、表情、自己表現、そして他者との合意形成といった、就業現場で不可欠な「非認知能力」の向上に重点を置いた。当初、生徒たちの多くは、人前で話すことに強い緊張や不安を抱いていた。しかし、演劇的な「ロールプレイ」を通じて、現実の面接や職場環境を客観的な「遊び」として体験することで、徐々に心理的障壁が取り除かれていった。 印象的な場面があった。ある生徒は、初回は視線を合わせることも困難であったが、プロの俳優との対話や身体表現を繰り返す中で、最終回には自身の潜在能力を最大限に発揮し、ハキハキとした声で自己 PR を行えるまでになった。引率した教員からは「教室での指導では見られなかった積極性や、自己の強みを再発見する姿に驚いた」との声が寄せられた。これは、舞台芸術が持つ「変身」や「共感」の力が、就業支援という実利的な教育ニーズに対していかに有効であるかを実証する結果となった。 本事例は、劇場・音楽堂が単なる鑑賞の場ではなく、地域の教育や福祉の課題に直接関与し、解決の一翼を担う「社会の装置」として機能し得ることを示している。当館では、この成果をモデルケースとして、今後も演劇手法を社会実装する取り組みを深化させ、愛媛県における文化芸術の新たな社会的価値を創出していきたい。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…R７年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）	協賛金等、5,906,000 円	
目標(値)（※２）	普及啓発事業の協賛金・共催者負担金の額を8,644,000 円とする。	
実績(値)	普及啓発事業の協賛金･共催者負担金 7,490,000 円	
団体の自己評価	現状（約 590 万円）を上回ったものの、目標には届かなかった。協賛企業の新規開拓を積極的に推進し、着実に財源を拡大させた。	
所見	厳しい資金状況のなか協賛金・共催者負担金を獲得されたことは評価したい。	
対応・追加情報	次年度は、企業版ふるさと納税に加え、個人寄附やクラウドファンディング等の小口多角化を検討する。また、事業の社会的価値（ROI）を可視化した報告を強化し、持続可能な協力体制の構築に努める。	

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）		年 2 回、6 月・1 月実施
目標(値)（※2）		年 2 回、4 月・8 月実施
実績（値）		年 2 回、4 月・12 月実施
団体の自己評価		年間 2 回の研修実施という目標を計画通り完遂した。情報セキュリティおよびハラスメント防止に関する規定の周知を徹底し、役職員の意識向上を図るとともに、組織全体での法令順守体制を強固に維持することができた。
所見		コンプライアンス遵守を最優先事項として今後も積極的な取り組みを期待している。
対応・追加情報		今後は SNS 運用等の最新のリスクに対応したガイドラインの更新を適宜行う。また、定例研修に加え、ヒヤリハットの共有や外部専門家を招いた講習を検討し、より高度なコンプライアンス文化の醸成とリスク管理に努める。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	年 2 回、6 月・1 月	
目標(値)（※2）	年 2 回、4 月・8 月	
実績（値）	年 2 回、4 月・12 月	
団体の自己評価	年間 2 回の研修を計画通り実施し、指針の周知を徹底した。全スタッフ・出演者を対象に、ハラスメントの定義や相談窓口の再確認を行い、職場および創作現場における互いの尊厳を守る意識の共有を確実に遂行した。	
所見	不祥事の発生を避けるべく高い意識で取り組まれていることを評価したい。	
対応・追加情報	今後は創作現場特有の事案（インティマシー・プロトコル等）への理解をさらに深める個別研修の導入を検討する。また、匿名性の高い相談ルートの再整備など、風通しの良い環境づくりを継続し、再発防止体制を強化する。	

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
全 11 事業を通じ、目標を上回る 14,000 人超への機会提供と初参加率 88%を達成した。特に特別支援学校での就業支援や県内へのアウトリーチ等、多様性とアクセシビリティを重視した施策を完遂。組織改編や財源確保の強化を並行し、一般社団法人としての体制下で、持続可能な運営基盤の構築と実演芸術の社会的価値の可視化を大きく進展させることができた。

所見
2006 年のミュージカル「坊っちゃん」をはじめとして愛媛県の偉人や歴史を主要テーマとして 2024 年度までに 17 作品を上演して来た実績は尊いものである。さらに演劇ワークショップや伝統芸能の継承、小中高演劇鑑賞、学校への出張公演事業などに多面的に取り組み成果を上げている。 ただし全国的な人口減少の中にあって鑑賞者の維持も難しくなっており事業環境は厳しい。これは全国的な構造的課題でもある。若い世代の舞台芸術の関心はダンスに傾斜してもいる。そのトレンドも踏まえつつ今後はこれまでの作品の創造的再演等も含め坊っちゃん劇場の存在感を大いに発揮していただくことを望んでいる。

備考